

第4学年 道徳学習指導案

- 1 主題名 友だちのよさを知る(2-(3)友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。)
資料名「ぼくらだってオーケストラ」(出典 東京書籍)

2 主題設定の理由

- 本学級の児童は、係や当番の活動では友達と役割を分担し、協力して活動したり、体育や音楽の時間には友達どうしで練習方法を工夫し教え合いながら活動したりと仲間意識も育ってきている。

しかし一方では、自分の都合ばかりを押しついたり、自分の思いや考えだけで行動したりして、友達にいやな思いをさせたり、迷惑をかけたり、言い合いになったりすることもある。

これは、相手の立場を理解したり、自分と異なる考えを受け入れたりすることが十分でないためと考える。

- よい友達関係を築くには、互いを認め合い、学習活動や生活の様々な場面を通して理解し合い、協力し、助け合い、信頼感や友情をはぐくんでいくことが大切である。そして、相手の立場を理解したり自分と異なる考えを受け入れたりしながら、仲よく活動したり、困っている友達のことを心配し助け合ったりすることで、友達のよさを強く感じるようになる。

そこで、上学年の仲間入りをし、集団での活動がさらに増え友達関係が深まるこの時期に本主題を設定し、友達と互いに理解し、信頼し、助け合うことの大切さに気づかせていくことは大変意義深いと考える。また、このことは、男女問わず互いに理解し、信頼し、助け合えるようになることにもつながると考える。

- 本資料は、楽器の演奏が苦手な主人公は、熱心にアドバイスをする友達の行為を最初は受け入れられなかったが、次第に友達の気持ちや考えが分かるようになり友情が生まれるという内容の読み物資料である。

最初はプライドから教えてもらうことに抵抗があったてつおが、なつみの熱心さに気づきアドバイスを素直に受け入れるようになるまでの心情、その後てつおが演奏できるようになったことを自分のことのように喜んでくれるなつみを見たときの心情を共感的に捉えさせることで、相手の立場を理解したり助言を素直に受け入れたりする気持ち、お互いに信頼し助け合う気持ちの大切さに気づかせることができると考える。

- 本主題の指導にあたっては、まず導入で、友達と教え合い助け合うことはとても大切だと思っはいても、実際は思い通りにはできていないというアンケート調査の資料をもとに話し合わせることで価値への方向付けを図る。

次に展開前段では、プライドから改善点を指摘されることに抵抗を感じているてつおの気持ちや次第になつみの熱心さに気づきアドバイスを素直に受け入れて練習に前向きになるまでのてつおの気持ちを、心情カードを活用して話し合わせることで、自分たちもてつおと同じような感情が生じることがあり、人それぞれ多様な考え方、感じ方があることに気づくことができるようにする。

また、演奏できるようになったてつおを自分のことのように喜んでいるなつみを見た時のてつおの心情を吹き出しプリントに書いて話し合わせることで、友達と互いに理解し信頼し助け合うことの素晴らしさに共感できるようにする。

そして展開後段では、これまでの体験を想起して話し合わせることで、自分たちの心の中にも、友達と互いに理解し信頼し助け合う心がしっかりとあることを体験と結んで実感できるようにする。

さらに終末では、友達と助け合うために大切な心について交流し合い、今後の実践意欲を高めることができるようにする。

3 本時

- (1) 日時 平成24年6月28日 5校時 於4年1組教室

- (2) 主眼 主人公の気持ちを心情カードや吹き出しで表し、話し合うことを通して、相手の意見や立場を尊重し、助言や忠告の意味を考えながら、友達と互いに理解し信頼し助け合っていこうとする心情を高める。

- (3) 準備 アンケート調査資料、道徳資料、場面絵、短冊カード、心情カード、道徳プリント

4 展開

	学習活動と主な発問	指導上の留意点
導入	<p>1 アンケート調査をもとに友達との関わりについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>友達と教え合い助け合うことは大切ですか。でも教え合い助け合うことができなかったことはありませんか。</p> </div>	<p>○ アンケート調査の結果を提示することにより友達と教え合い助け合って過ごすにはどんな心が大切かという問題意識を持つことができるようにする。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>友達と教え合い助け合って過ごすためには、どんな心が大切なのか見つけよう。</p> </div>	
展開 前段	<p>2 資料「ぼくらだってオーケストラ」前半を読み、てつおの心を話し合う。</p> <p>(1) 改善点をなつみさんに指摘された時のてつおの気持ちを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「右手の小指、あなが半分あいている。」となつみさんに言われた時、てつおはどんな気持ちだったのでしょうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・得意なことだけ偉そうに言わないで。 ・自分でできる。 ・そんなこと分かっている。 ・できてないところばかり言わないで。 <p>(2) なつみには何も言わず、なつみが教えてくれたことを確かめながら練習するてつおの気持ちを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なつみさんには何も言わずに教わった通りに練習していた時、てつおくんはどんなことを考えていたでしょう。</p> </div> <p>[自分のことだけ考える]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドレミを書くといいことくらいはわかっている。まだしていないだけだ。 ・自分でするからいい。 ・偉そうに言っていやだな。 ・できていないところばかり言われて嫌な気分だ。 <p>[自分と友達のことを考える]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なつみさんが言った通りだ。すごい。 ・ドレミを書いてくれて助かった。 ・教えてくれた通りにするとできそう。うれしい。頑張ろう。 ・嫌がらずに教えてくれてありがとう。 ・知らないふりしてごめんなさい。 	<p>○ 資料を前半と後半に分けて提示して話し合うことにより、自分の経験と重ね合わせながらてつおの気持ちに十分共感できるようにする。</p> <p>○ 自分のプライドが優先し、改善点を指摘されることに抵抗を感じているてつおの気持ちを心情カードで表すことにより、今後のてつおの気持ちの変容とつなぎ大切な心に気づくことができるようにする。</p> <p>○ てつおの多様な気持ちを心情カードを使いながら交流し合うことにより、次の気持ちについて共感的に捉えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なつみの指摘やアドバイスが正しいとは分かっているはいても素直に受け入れられない気持ち。 ・なつみが自分のことを真剣に考えて教えてくれていることに気づきアドバイスを受け入れる気持ち。 <p>○ 知らんぷりしていた時やドレミを書いてあげようかと言われてもだまっていた時の気持ちを想起させる。また、「何も尋ねもしないのになつみさんは何度もてつおに話しかけてくるね」と問いかけたり、「なつみから教わったことをひとつひとつ確かめながら、リコーダーを吹いているのはどんな気持ちからだろう」と問いかけたりすることにより、児童の実態につないで多様な考えを引き出すようにする。</p>

<p>展 開 後 段</p> <p>終 末</p>	<p>3 資料後半を読み、てつおの心の変化について話し合う。</p> <p>(1) なつみが自分のことのように喜んでくれている姿を見た時のてつおの気持ちを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なつみさんが自分のことのように喜んでくれているのを見たとき、てつおくんはどんなことを思ったでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・なつみさんはぼくのことを真剣に考えてくれていた。本当の友達だ。 ・相手の気持ちを素直に受け止めよう。 ・相手の気持ちを考えて教えよう。 <p>4 自分たちの生活を振り返り、話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>てつおくんと同じように、友達と教え合い助け合って活動してよかったと思うことはありませんでしたか。</p> </div> <p>5 本時学習を振り返る。</p>	<p>○ 演奏できるようになったことをなつみといっしょに喜び、次は自分が教えようと考えようにまでなったてつおの気持ちを吹き出しプリントに書いて交流し合ったり、心情カードで表したりして、前段と比較することにより、友達と互いに理解し信頼し助け合うことのできたてつおの気持ちよさに十分共感できるようにする。</p> <p>○ これまでの体験の様子を提示したり、価値に関する児童作文を紹介したりすることにより、自分たちの心の中にも友達と教え合い助け合う心がしっかりとあることを体験と結んで実感できるようにする。</p> <p>○ 友だちと教え合い助け合って過ごすために大切な心について話し合うことにより、価値を温める手立てとする。</p>
---	---	---